初校 | 制作会社：アクシス 制作者：神崎
04.10.28 | 校正者：寺井

A2size(594×420)
MAH-605B

MAH-605B 4類 2002年10月1日発行

TOSTEM トステム株式会社

先張り防水シート、防水テープ 取付け説明書

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。
●住宅サッシの施工では気密性の確保や漏水防止対策など、本説明書に従って行ってください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注 意

●防水テープの重なり部分およびサッシ枠との貼り合わせ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。これがなされている場合は、4隅貼りを省略することができます。

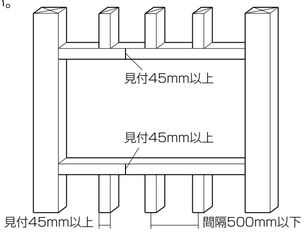
■取付け上のお願い

●開口部まわりは、建物の工法、求められる性能、立地条件などを考慮して適切な施工をおこなってください。
●ここに掲載している施工手順は、透湿防水シート後張りタイプの参考例です。

■取付け順序

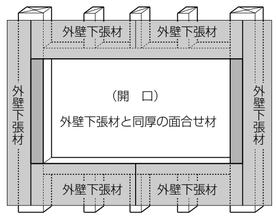
1 開口部の造作

●複層ガラス入サッシの重量は、単板ガラス用サッシの約2倍です。荷重を支えるため、
・間柱、まぐさ、窓台の見付は45mm以上
・間柱は間隔500mm以下で配置
としてください。



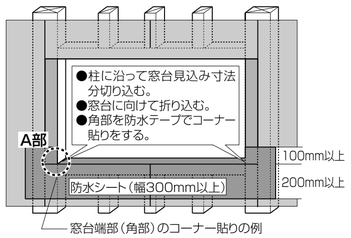
2 外壁下張材の取付け

●外壁下張材を張り、左右柱に下張材と同厚の「面合せ材」を取り付けます。

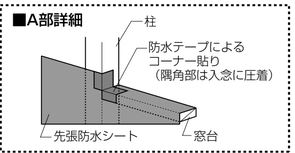


3 先張り防水シートの張付け

●窓台に先張り防水シートを張り、窓台端部に防水処理を施します。

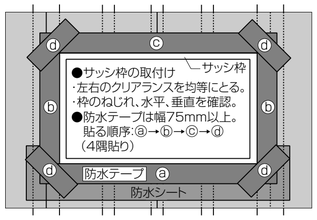


■A部詳細



4 サッシ枠の取付け、防水テープの張付け

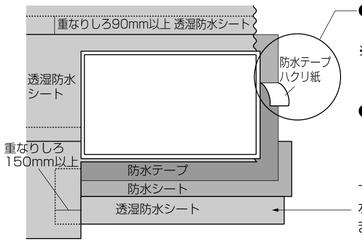
●サッシ枠を取付け、サッシ枠廻り4辺に防水テープ（両面タイプ）を貼り付けます。
①サッシ枠4辺（ⓐⓑⓒ）に防水テープを施工します。
※テープは、サッシ枠の釘打ちフィンを覆うように押し付けて貼ります。
②サッシ枠（ⓓ）に防水テープを貼ります。
※サッシ枠の角部が完全に隠れるようにサッシ枠に押し付けて貼ります。
※重なり部分はハクリ紙をはがして貼り付けます。



⚠注 意

●防水テープの重なり部分およびサッシ枠との貼り合わせ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。これがなされている場合は、ⓓ（4隅貼り）を省略することができます。

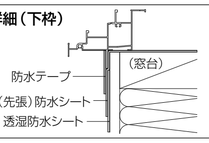
5 透湿防水シートの施工



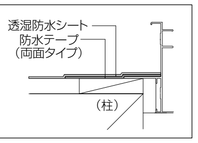
●防水テープのハクリ紙をはがしてその上から貼ります。
※防水テープ周辺は、シートにシワが生じないように丁寧に施工してください。
●シート重ねしろは縦90mm以上、横150mm以上を目安とします。

下枠部（窓下）には、透湿防水シートを先張り防水シートの下に差し込みます。

■断面詳細（下枠）

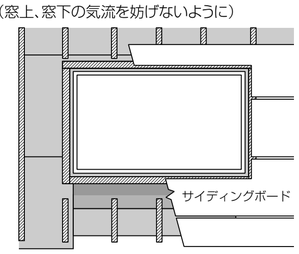


■断面詳細（縦枠）



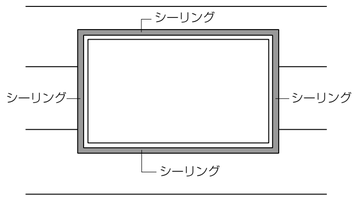
6 外壁材の施工（横張りサイディングの例）

●通気胴縁を取付け、外壁材を施工します。（窓上、窓下の気流を妨げないように）
①柱・間柱のピッチで通気胴縁を施工します。
②サッシ枠周囲四方に胴縁を付けます。
→胴縁は上は横通し、下は縦通し。
※サッシ枠と胴縁との間は、バックアップ材・シーリングしろを考慮したクリアランスをとってください。
③胴縁で透湿防水シートと防水テープを押さえるように取り付けます。
※サッシ枠とサイディング端部とのクリアランスは10mm以上を目安とします。
（日本シーリング工事業協同組合連合会では、巾:10mm、深さ:8mmとしています。）

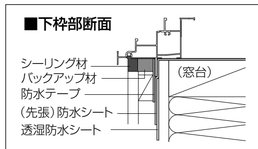


7 外壁材小口の防水処理

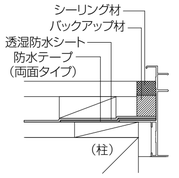
●外壁材小口の防水処理と、開口部周辺のシーリング施工を行います。
※外壁材小口には、シーリングの前に専用のプライマーを塗布します。（シーリング部分）
※外壁材小口とサッシ枠の間に、バックアップ材を充填した後、シーリング施工をします。



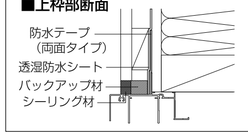
■下枠部断面



■縦枠部断面



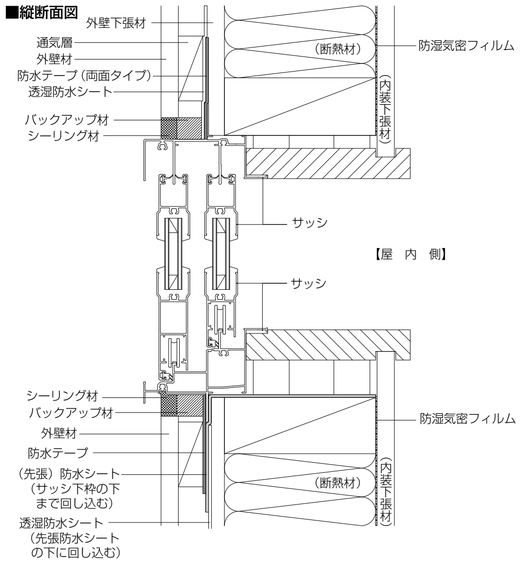
■上枠部断面



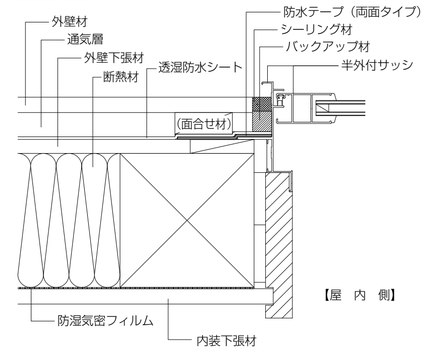
■納まり参考図

〈充填断熱工法・大壁納まり（「気密5cm²/m²以下」仕様）〉

■縦断面図

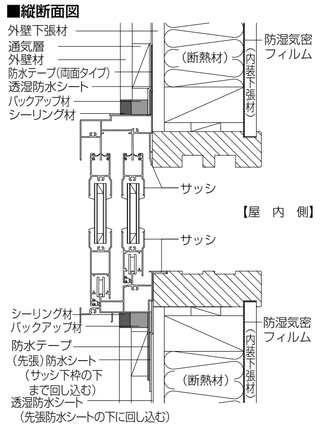


■横断面図



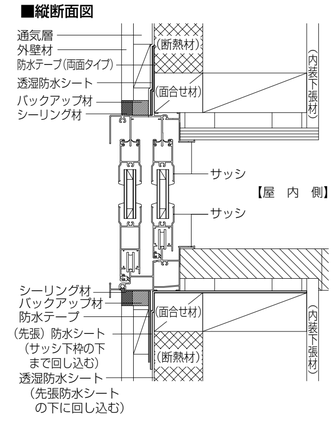
〈充填断熱工法・和室納まり（「気密5cm²/m²以下」仕様）〉

■縦断面図



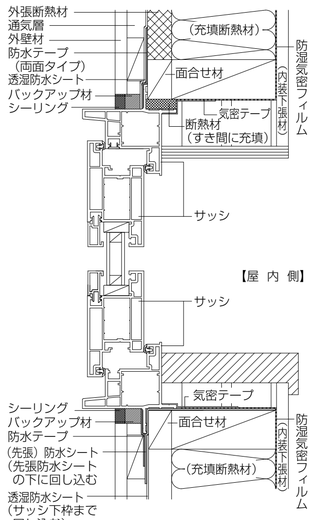
〈外張断熱工法・大壁納まり（「気密5cm²/m²以下」仕様）〉

■縦断面図



〈充填断熱工法・大壁納まり（外張断熱工法併用・「気密2cm²/m²以下」仕様）〉

■縦断面図



図番	用紙サイズ	刷色数	形式	折り数	設指番号
B720SI0002-01	A2	1	新聞	16	SE-0277